

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成19年度～平成23年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	吉野川森林計画区（よしのがわ） （徳島県）	事業実施主体	四国森林管理局 徳島森林管理署												
事業の概要・目的	<p>吉野川森林計画区は、吉野川上流高知県境から紀伊水道沿岸部までの徳島県北部に位置し、高海拔地域に分布する国有林が多く、剣山国定公園等を始めとした11,830haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・山岳林）は多様であり、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>33 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>353 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>6.8 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	33 (ha)		保育面積	353 (ha)	路網整備	開設延長	4.3 (km)		改良延長	6.8 (km)
森林整備	更新面積	33 (ha)													
	保育面積	353 (ha)													
路網整備	開設延長	4.3 (km)													
	改良延長	6.8 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	432,505千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>236,081千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>87,606千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>19,551千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>466,739千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>425,834千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,235,811千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	236,081千円	山地保全便益	87,606千円	環境保全便益	19,551千円	木材生産便益	466,739千円	森林整備経費縮減等便益	425,834千円	計	1,235,811千円
	水源かん養便益	236,081千円													
山地保全便益	87,606千円														
環境保全便益	19,551千円														
木材生産便益	466,739千円														
森林整備経費縮減等便益	425,834千円														
計	1,235,811千円														
分析結果（B / C）	2.86														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 森林の有する多面的機能を健全に維持発揮させるため、森林の生育段階に応じた施業を実施して、森林に対する国民の期待に応じられると共に森林を将来の世代に健全な形で引き継いでいくため本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成19年度～平成23年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	南予森林計画区（なんよ） （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署																
事業の概要・目的	<p>南予森林計画区は、宇和島市等を始めとし愛媛県南部に位置し、自然景観に優れた天然林等は足摺宇和海国立公園の特別地域にも指定されている。国有林野面積が11,768haあり宇和島市の上水道の約7割を供給している国有林を中心とした国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であり、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>51 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>371 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>8.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>10.7 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	51 (ha)			保育面積	371 (ha)		路網整備	開設延長	8.5 (km)			改良延長	10.7 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	51 (ha)																
		保育面積	371 (ha)																
	路網整備	開設延長	8.5 (km)																
		改良延長	10.7 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	459,119千円																	
	総便益（B）	水源かん養便益	164,373千円																
		山地保全便益	79,756千円																
		環境保全便益	20,530千円																
		木材生産便益	612,121千円																
		森林整備経費縮減等便益	483,693千円																
		計	1,360,473千円																
	分析結果（B/C）	2.96																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 森林の有する多面的機能を健全に維持発揮させるため、森林の生育段階に応じた施業を実施して、森林に対する国民の期待に応じられると共に森林を将来の世代に健全な形で引き継いでいくため本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	徳島
森林計画区	吉野川
事業名	森林環境保全整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益	135,262		135,262	
	流域貯水便益	44,469		44,469	
	水質浄化便益	56,350		56,350	
国土保全便益	土砂流出防止便益	87,606		87,606	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	19,551		19,551	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		144,422	144,422	
	木材利用増進便益		13,886	13,886	
	木材生産便益(森林整備分)	33,189		33,189	
	木材生産便益(路網整備分)		275,242	275,242	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		131,753	131,753	
	作業道作設経費縮減便益		103,225	103,225	
	治山経費縮減便益		183,608	183,608	
	森林管理等経費縮減便益		7,248	7,248	
総便益額 (B)		376,427	859,384	1,235,811	
総費用額 (C)		95,725	336,780	432,505	
費用対効果分析 (B)/(C) =				2.86	

注) 1 に適宜入力する。

2 (B)/(C) 1.0 であれば、社会経済的に評価でき、実行可能性があることを意味する。

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	愛媛
森林計画区	南予
事業名	森林環境保全整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益	86,340		86,340	
	流域貯水便益	34,232		34,232	
	水質浄化便益	43,801		43,801	
国土保全便益	土砂流出防止便益	79,756		79,756	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	20,530		20,530	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		312,889	312,889	
	木材利用増進便益		55,382	55,382	
	木材生産便益(森林整備分)	27,684		27,684	
	木材生産便益(路網整備分)		216,166	216,166	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		331,353	331,353	
	作業道作設経費縮減便益		111,298	111,298	
	治山経費縮減便益		33,646	33,646	
	森林管理等経費縮減便益		7,396	7,396	
総便益額 (B)		292,343	1,068,130	1,360,473	
総費用額 (C)		86,585	372,534	459,119	
費用対効果分析 (B)/(C) =				2.96	

注) 1 に適宜入力する。

2 (B)/(C) 1.0 であれば、社会経済的に評価でき、実行可能性があることを意味する。